

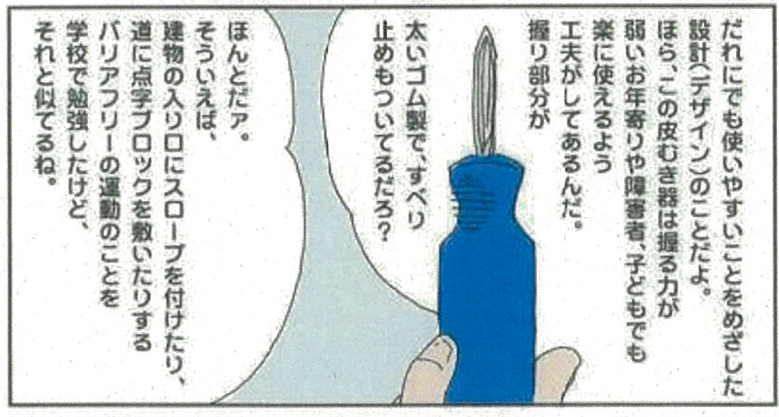
# ユニバーサルデザインって何だ？ 1

## ユニバーサルデザインとは？

ユニバーサルデザインは「万人向け設計」とも訳され、英語の頭文字を取ってUD(ユーディー)と略されることもあります。

年齢、性別、国籍、障害の有無などに関係なく、最初から特別な調整をしなくても誰もが利用しやすい製品や建物、環境のデザイン、さらには情報やサービスなど、すべての人が生活しやすく社会をデザインすることを意味しています。

鳥取県では、「人権施策基本方針」(平成16年3月第1次改訂)で、人権尊重の基本理念のひとつにユニバーサルデザインの推進を掲げています。



### ユニバーサルデザインの7原則

もともとユニバーサルデザインは、米国ノースカロライナ州立大学の教授で障害のあった故・ロナルド・メイスさんが1980年代に提唱した考え方で、以下をその7原則としてあげました。

- ①誰にでも公平に利用できること。
- ②柔軟な使い方ができること。
- ③簡単で直感的に利用できること。
- ④必要な情報が簡単に理解できること。
- ⑤単純な間違いをしても、危険につながらないこと。
- ⑥身体的な負担が少ないこと。
- ⑦近づいて使えるよう、適当な寸法や空間がとられていること。

# ユニバーサルデザインって何だ？ 2

## 地域のすべてを ユニバーサルデザインに!

一人ひとりの人権が大切にされる社会とは、幼くとも歳を取っても、妊娠しても小さな子どもがいても、障害があっても、外国から移り住んでも、どんなときでも安心して、だれにとっても暮らしやすい社会、つまりすみずみまでユニバーサルデザインが浸透した社会です。

また、そのような社会であってこそ、私たち一人ひとりの多様性が尊重され、すべての人の自己実現が可能になるのです。

そしてそのような社会の実現のためには、みんながさまざまな立場・状況の人々の意見をとりいれるよう常に努力しながら、協働してものごとを作り上げていくことが不可欠です。

## あなたも “ユニバーサルデザイナー”

ぜひあなたも、何かを作ろうとするとき、また色々なことを企画・立案するときには、「これでだれもが参加できるかな?」「どんな人でも利用できそうかな?」と考えてみませんか?

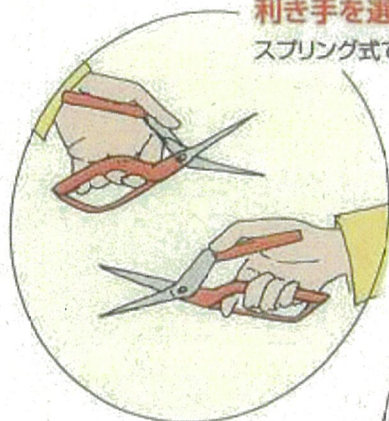
ユニバーサルデザインで、ビジネスチャンスが広がったり、さまざまな人とのより豊かな出会いが待っているかもしれませんよ!



# ユニバーサルデザインって何だ？ 3

こんなところにもUD！  
～身近にあるユニバーサルデザインの例～

利き手を選ばないハサミ  
スプリング式で楽に使える。



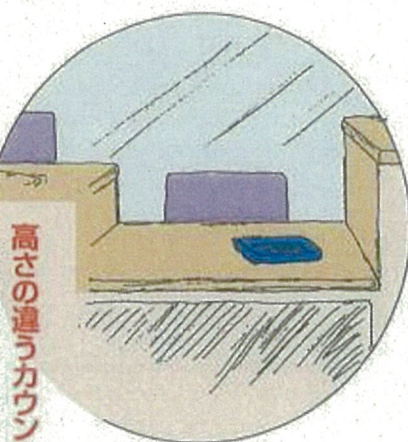
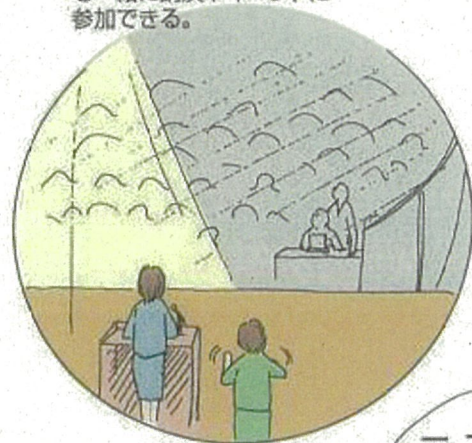
絵で表わされた案内標識  
字が読めなくても、  
視覚的に理解できる。



ほかたちの周りをよく観察したら、  
他にも色々ありそうだね。

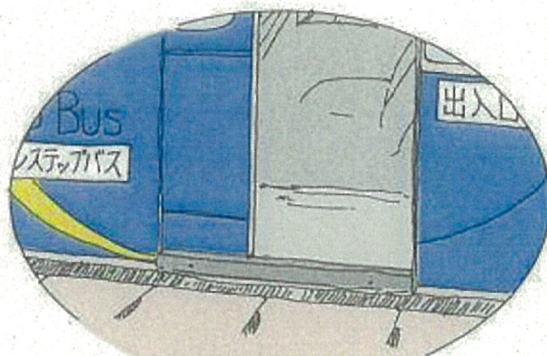
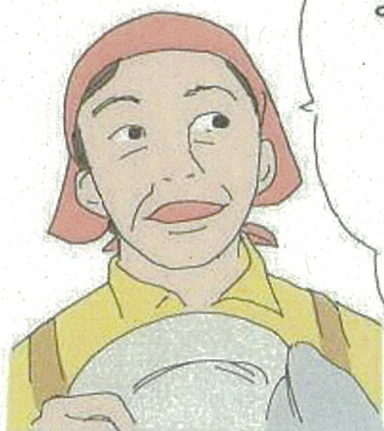
講演会・イベントでの  
手話通訳や要約筆記

聴覚障害がある人もない人も一緒に講演やイベントに参加できる。



高さの違うカウンター  
背丈の違いや車椅子の利用  
などに応じて、最も使いやすい  
高さが選べるよう、選択肢  
を用意している。

モノやサービスだけじゃないぞ。  
働きながらの出産・子育てを  
援する育児休業制度なんかも、  
ユニバーサルデザインの  
一例だよ。



ノンステップ・バス

車体が地面近くまで沈むため、車椅子や  
ベビーカー、足をけがしている人も、  
楽にすぐ乗り降りできる。